

# がん緩和ケアチーム：PCT（緩和ケア科）

緩和ケアチーム代表 鵜飼 克行

## 1. 特徴

平成20年12月、総合上飯田第一病院では、入院中のがん患者さんを対象として緩和ケアを行う「緩和ケアチーム（略して、PCT）」が設置された。

この緩和ケアチームは、平成21年4月から、緩和ケアの依頼があったがん患者さんのケースカンファレンスと回診（略して、ラウンド）を、原則毎週、行っている。緩和ケアチームは、医師・看護師・薬剤師・社会福祉士（ケースワーカー）・管理栄養士・臨床心理士など多職種から構成され、チーム医療を実践している。がん患者さんが背負っている、身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな「痛み」「苦しみ」「悩み」を、各専門家が専門性を発揮して、問題解決の手助けになるよう努力している。

## 2. 2009年活動実績

12ヶ月間の新規の緩和ケア対象患者数は、21名であった。

PCTの能力向上のため、定期的（3ヶ月に1回）にPCT内での勉強会を開いている。また、一宮市立市民病院におけるPCT活動を学ぶため、11月5日に実地見学研修を行った。

この他、緩和ケアの啓蒙活動の一環として、全職員を対象として「院内緩和ケア勉強会」を主催した。

### <学会発表>

- ・第22回日本総合病院精神医学会 「総合上飯田第一病院における癌緩和医療の現状と特徴、および問題点について」 鵜飼克行

### <研究会発表>

- ・第12回名北乳腺研究会 「総合上飯田第一病院における緩和ケアについて」 鵜飼克行

### <院内緩和ケア勉強会>

- ・第1回「緩和医療について」 鵜飼克行
- ・第2回「オピオイドについて」 稲垣純子

## 3. 2010年目標

よちよち歩きを始めたばかりの当院の緩和ケアチームは、まだ各科の主治医の先生方や病棟のスタッフから、十分な信頼を得ているとは言えない。今後も、勉強と経験を積み重ねながら、より良い緩和ケアを提供できるように、努力していきたい。

今後の具体的な目標としては、（1）日本緩和医療学会での学会発表、（2）地域の在宅医療クリニック・在宅看護ステーションとの連携の構築、（3）緩和医療マニュアルの作成、（4）緩和看護マニュアルの作成、などを目指したい。